

2020 年度事業計画

【1】公益事業の部

1. 一般研究助成

1. 第40回一般研究助成対象者の発表論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第40巻を刊行する。
2. 第41回一般研究助成の選考を行う。
3. 第41回一般研究助成贈呈式、第40回研究発表会を開催する(2020年12月11日)。

2. 臨床研究助成

JFMC34-0601：ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討（臨床第II相試験）

1. 学会発表を行う。
2. 英文論文を作成する。

JFMC37-0801（付随研究）：結腸癌術後治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン投与期間延長によるHRQOLおよび医療経済性への影響の調査

1. 最終解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 終了報告書を作成する。
4. 英文論文を作成する。

JFMC41-1001-C2（付随研究）：Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としての

mFOLFOX6療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

1. 遺伝子統合解析を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。

JFMC44-1101：治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討ー観察研究ー

1. 学会発表を行う。
2. 終了報告書を作成する。
3. 英文論文を作成する。

JFMC46-1201：再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 第8回 定期モニタリングレポートを作成する。
3. 学会発表を行う。
4. 英文論文を作成する。
5. 認定IRB（CRB）へ定期報告を行う。

JFMC47-1202-C3: StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. IDEA試験全体のイベント数調査に向けたデータ処理を行う。
3. 第8回 定期モニタリングレポートを作成する。
4. 学会発表を行う。
5. 検討会を開催する。
6. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

JFMC47-1202-C3 (付随研究): StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 付随研究

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。
4. 検討会を開催する。

JFMC48-1301-C4: 再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行う。
2. 第6回 定期モニタリングレポートを作成する。
3. IDEA試験全体のイベント数調査に向けたデータ処理を行う。
4. 学会発表を行う (JFMC47, 48統合解析含む)。
5. 英文論文を作成する
6. 検討会を開催する。
7. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

JFMC49-1601-C5: 食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制作用の検討ーエレンタール®非投与群を対照群としたランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 (EPOC2 study)

1. 検討会を開催する。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。
4. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

JFMC50-1701-C6: ロンサーフ (TFTD) 使用症例の後ろ向き観察 (コホート) 研究

1. 英文論文を作成する。

JFMC51-1702-C7: 標準化学療法に不応・不耐の切除不能進行・再発大腸癌に対するTFTD (ロンサーフ) +Bevacizumab併用療法のRAS遺伝子変異有無別の有効性と安全性を確認する第II相試験

1. 記録用紙の回収を行い、データ処理を行う。
2. 学会発表を行う。
3. 英文論文を作成する。
4. 検討会を開催する。
5. 認定IRB (CRB) へ定期報告を行う。

3. データベース事業支援委員会

1. 研究の公募
2. 応募研究の選抜
3. 研究の実施と研究結果の公表（年度末までの公表を目標とする）

4. 臨床試験審査委員会

新規臨床研究について審議する。

5. 倫理委員会

新規臨床研究について審議する。

6. 臨床研究開発・推進委員会

臨床研究開発・推進委員会（メール審議）を開催する。

7. 研究論文支援委員会

研究論文支援委員会を開催する。

8. 医療機器委員会

医療機器委員会を開催する。

9. 利益相反委員会

利益相反委員会を開催する。

10. 臨床試験管理委員会

臨床試験管理委員会を開催する。

11. 財務委員会

財務委員会を開催する。

12. 広報委員会

広報委員会を開催する。

13. 講演会及び講習会等事業

2019年度に日本生活習慣病予防協会と共催で市民公開講座（2020年2月5日）を開催したが、2020年度も同様にがん治療と予防について講演会や市民公開講座等を開催する予定である。

14. 諸事業

1. 新規臨床試験受託整備（各種標準手順書等の改定）をする。
2. がん集学財団ニュース No. 43を刊行する。
3. 財団諸事業については、当財団ホームページで適宜情報を発信する。

【2】収益事業の部

1. 医療機器事業

医療機器による試作品評価及び市販後調査の受託事業を実施する。